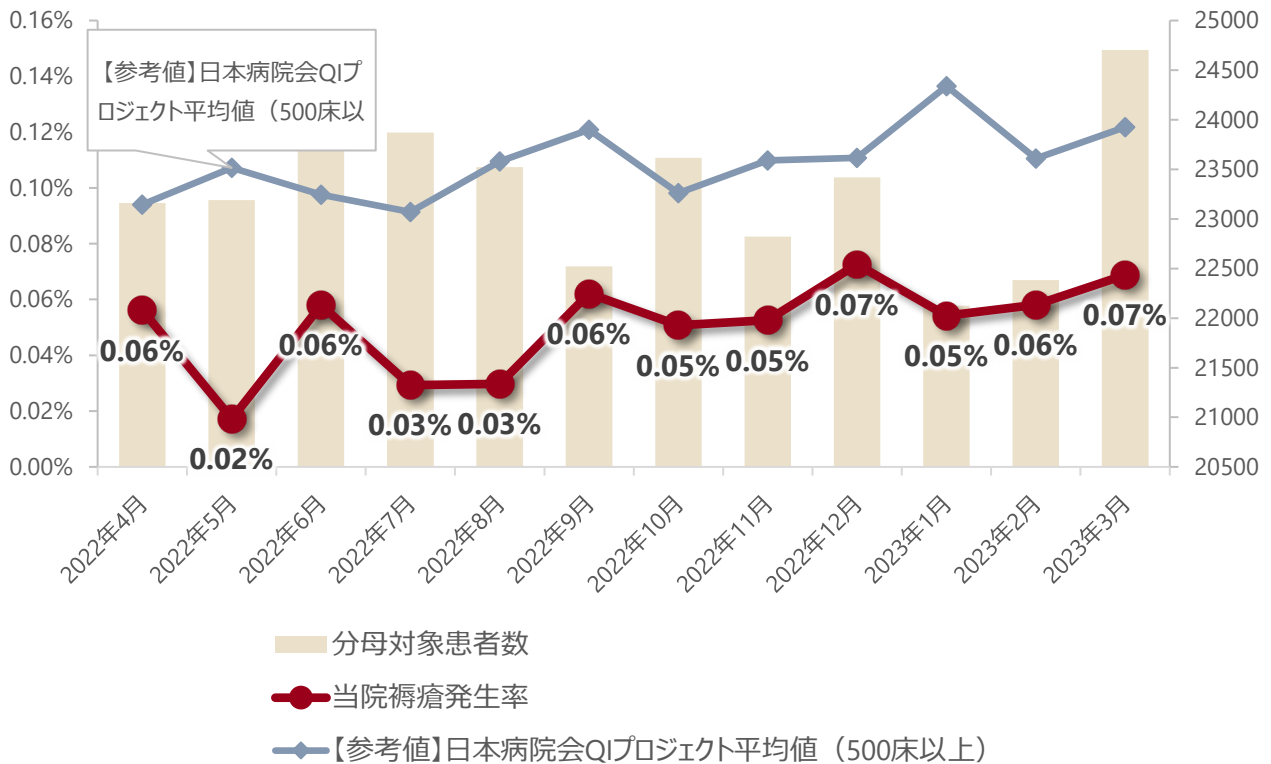


褥瘡発生率

2022年度褥瘡発生率



指標の意義・目的

褥瘡発生率は、看護ケアの質評価の重要な指標の1つとなっています。褥瘡は患者さんのQOLの低下をきたすとともに、感染を引き起こすなど治癒が長期に及ぶことによって、結果的に在院日数の長期化や国民医療費の増大にもつながります。そのため、褥瘡予防対策は、提供する医療の重要な項目の1つに数えられ、1998年からは診療報酬にも反映されています。当院はこの指標を看護ケアの重要なKPI（Key Performance Indicator）と捉え、専従の認定看護師を配置し、日々改善活動を行っています。

算出定義

分子：d2（真皮までの損傷）以上の院内新規褥瘡発生患者数

分母：同日入退院患者または褥瘡持込患者または調査月間以前の院内新規褥瘡発生患者を除く入院患者延べ数（人日）

参考

1. 一般社団法人日本褥瘡学会 改定 DESIGN R®2020 コンセンサス・ドキュメント

(http://www.jspu.org/jpn/member/pdf/design_r2020_doc.pdf)

2. 一般社団法人日本病院会 QI プロジェクト 年度別指標一覧 2022 年度（一般病床）「 No.5 褥瘡発生率」 (https://www.hospital.or.jp/qip/pdf/qi2022_105.pdf)